

流山市事業継続計画（BCP）素案に係る意見交換会 議事録

1 日 時 平成 25 年 1 月 14 日（月）

2 場 所 市役所第 3、4 委員会室

3 次 第

（1）挨拶

（2）計画案及び実施要領の説明

（3）質疑応答

（4）意見交換

（5）補足説明

4 出席者 市民 20 名

5 事務局担当 市民生活部長、コミュニティ課長、
防災危機管理課長、防災危機管理課長補佐

6 意見交換内容

（市民 A）

- ・「災害弱者の視点」を考え、医師会、病院との連携を考えてもらいたい。避難所に避難してきた方が、どんな薬を処方してもらうかが分からず、困ったという話を聞いたことがある。薬の処方データのクラウド化など、行政の方でも音頭を取ってもらいたい。
- ・今回原発の関係は計画に入っていないが、流山市は安定ヨウ素剤を持っていないということなので、首長の判断で配布ができるのか、考えてもらいたい。
- ・在宅で酸素吸入器を使っている患者の方などもいると思うが、そういった方のリストの整備なども取り組んでももらいたい。

（司会）

- ・大事なことであると思うが、本日のテーマである事業継続計画からすると、今の意見についてこの場で議論をすることは難しいと思う。事業継続計画というより、地域防災計画の議論であると思う。確かに線引きが難しい。

（市民 A）

- ・BCP を発動する事前準備の部分の記載が欠けているように思う。

(司会)

- ・本日の意見交換会が終わった後に、行政から BCP の事前準備についてどう考えているのか、答えてもらうものとしたい。

(市民 B)

- ・スタッフの参集についてであるが、わざわざ市役所の庁舎に参集するよりも、公民館等の施設に参集した方が早い場合があると思う。常日頃、自分たちがどこに行って何をするのかを理解していれば、直接参集するという方法も考えられると思う。

(市民 C)

- ・市の方で、誰がどこにいるということが分からないと、部課長も采配ができないと思う。「非常時にこの人はここに行って何をする」ということが決まっている職員ならば良いが、非常時は混乱する。それを考えるとある程度一か所に参集する必要があると思う。

(市民 B)

- ・南流山センターなどには無線がある。無線で報告、連絡は可能であると思う。

(市民 D)

- ・福島では、職員が避難所等に身を寄せた結果、業務等でその場から動けなくなってしまうという事例がある。業務が終わっても、何も持っていないから逃げられない状態になってしまう。職員も市民も同じである。それでも職員にこういう規定を与えて業務に当たらせるのか。その辺を職員の家族でよく話し合っておくべきと思う。
- ・ボランティアの協力も、どれくらいの数が必要で、どのような業務を手伝ってもらうのか。それが書けないということであれば、職員の一人ひとりがどのような業務を担うのか、もう少し細かい規定が必要ではないかと思う。

(市民 C)

- ・計画には詳細に書けないと思うが、各部課で細かくシミュレーションや訓練をしてみることも大事だと思う。東日本大震災でも、日頃からの訓練が命を救ったという事例が何度も報道され

ていた。実際に動いてみるのが大事であると思う。

(市民 E)

- ・地域防災計画と違って、BCPについては、必要人員と実際の人員とのギャップの問題をどうするのかということが課題である。それと各班がこれからマニュアルを作るとしているが、それをいつまでに作るのかということと、そこにどのように市民の意見を入れていくかを考えていく必要があると思う。
- ・例えば39ページに各自治体からの応援とあるが、近隣の自治体は、大規模な地震であれば期待はできない。そういったときに西宮市で作られた「被災者支援システム」の整備しておいたり、応援協定を結ぶ自治体をどのくらい増やしていくのか。民間事業者との応援協定も今後どのくらい増やしていくのか。そういったことを考えていくべき。各班のマニュアル作りの際に、このような会議を開催し、各班と議論ができれば良いと思う。

(市民 A)

- ・BCPに限って議論をしたいが、どうしても不明確な部分がある。例えばインフラの部分で、ガソリンについては市としてどのように確保しているのか。携帯電話のバッテリーはどうしているのか。そういった詳細な部分について意見を伝えたいが、まだマニュアル化されていないということであれば、マニュアル化を見える化してほしい。BCPの全体像は分かるが、その詳細の部分に被災者の経験等が生かされているのかが分かるような「見える化」に努めてほしい。

(市民 F)

- ・行政の方では地元出身者の職員の方を把握していると思う。非常時はそういう方に優先して動いてもらおうということでお願いをしておくと思う。

(市民 G)

- ・地元で職員が集中してしまうと、組織としての統一が取れないように思う。市のトップの意見や指示が生かされず組織がバラバラになってしまう。基本は一度職員は市役所に集合させ、そこから各所に移動させるべきと思う。市民のもとに到着するま

でに時間的なギャップが生まれるが、その方が統一の取れた避難行動に繋がり、結果として救われる人数が多い防災に繋がっていくように思う。

- ・全体としての意見になるが、地域防災計画と BCP の線引きが不明確で、このレベルの段階で市民から意見を求めるのはどうなのか。

(市民 H)

- ・職員の参集については、組織系統を重視するのであれば、コントロールタワーとしての市役所本庁に一度参集することが重要であるのは当然であると思う。ただし、機能面で考えるのであれば、地元職員が直接現地に参集するというのも有効である。両者は両立できる話であると思う。その場合は地元職員という有効資源をどのように活用するのかを事前に取り決めておくべきと思う。このことは B C P 策定に関する議論になり得ると考える。

(市民 A)

- ・防災に関しては、市の指導もしっかりしておく必要があると思う。職員には大人数の命を優先しなければならないという原則があると思う。その辺は職員に徹底し、地元を犠牲にした場合に、後々職員に後遺症が残らないようにするべき。ただその時に、個人の判断も優先されるということも徹底しておくべき。

(市民 I)

- ・発災直後、市職員は地元に出てもいいということになると、この BCP という計画自体が成立しないのではないかと。まず自分の勤務地に出ることになっていないと、大災害が起きた時の統率は取れないと思う。便利なこともあるかと思うが、それにもルール付けをしておく必要がある。
- ・BCP という計画には、あらかじめ作業をしておくべきことがたくさんあると思う。例えば仮設トイレの設置についても、事前に業者と契約をして、市役所の電話一本で不足分を補えるようにしておくというように。そういうものを事前に抽出しておけば、この計画が機能すると思う。

(市民 H)

- ・先ほどの市民 F の意見にあった地元の職員というのは、いわゆる OB の職員のつもりである。現職の職員が一か所に集まるといのは、それでも良いと思う。その部分は整理して考えてもらいたい。

(市民 E)

- ・指定管理者の方をどのように巻き込んでいくかも重要であると思う。公民館等もほとんど指定管理者が入っている。指定管理者が職員からの指示を受けて、どのように動けるようになるのかを具体的に考えてもらいたい。

(防災危機管理課長補足説明)

- ・職員については、避難所運営の役割を受けている職員については、直接現地に参集することとしている。
- ・避難所（小中学校体育館）の鍵については、避難所運営委員会をやっていただく地元の代表自治会の方に持ってもらうつもりである。
- ・マニュアルについては、地域防災計画と BCP を基本として、個々の班の細部のマニュアルと職員一人一人のマニュアルも作っていく予定。その前提で議論をお願いしたい。
- ・個々の業者との関係。協定を順次進めている。ただし業者としてもどこまで協力できるかは明確に出来ない部分もある。その時になってみないと分からないということは、理解していただきたい。
- ・指定管理者との協力については、地域防災計画に位置付けられている。避難所については市長が開設運営の責任を持つ。それを代行する職員が責務を負う。指定管理者や学校が施設管理をし、実際の運営については、自主防災組織を組織している自治会で構成される避難所運営委員会で動いてもらうよう、マニュアル作成を進めているところである。

(市民 J)

- ・基本的には BCP の方向性は良いと思う。災害時いかにして市民の命、財産を守っていくかという計画であると思う。これを全

職員に意識付けさせることに重点をおいてもらいたい。

- ・市の職員も市外に住んでいる職員も多いと思う。車や自転車の整備もしっかり徹底しておくことを指導しておいてもらいたい。
- ・学校の防災教育は徹底されている。学校とも連携しながら、防災行政の推進に取り組んでもらいたい。

(市民 K)

- ・市民の中には町会、自治会に属していないという方も多い。そういった方は、非常時に避難所でどのように取り扱われるのかという不安を持っていると思う。そういった市民の対応も市の方としてどのように考えるのか、提案として述べておきたい。

(市民 A)

- ・市議会の方でも BCP を計画していただき、それに市民が協力していくという形になれば、行政の負担を減らせると思うので、検討していただきたい。

(市民 C)

- ・そういった声は上がっている。今後考えていきたい。

(司会まとめ)

- ・地域防災計画をもとに、BCP ができることは、一つステップアップすることになると思う。本日はこれに何が足りないということではなく、さらにマニュアル等で生かしてきたいという方向で、皆さんからのご意見が出ていたと思う。今後本日の意見を市の方でまとめ、計画に生かしてもらいたい。